

平成19年度 学校自己評価表(定時制課程) (実施段階)



学校運営計画(4月)

評価(月)

学校運営方針	自分の力を信じ、自分に誇りをもち、夢を持つよき学習者となり、他者に心を配れるよき社会人の育成を図る。高校教育を通して校訓「自助・自敬・信愛」の精神を培い、豊かな教養と思いやりの心を育て民主的な国家及び社会の形成者としてふさわしい有為な人材の育成を図る。		A
昨年度の成果と課題	年度重点目標	具体的目標	
本年度、単位制・定時制のひびき高等学校として創立して5年目を迎えるとともに、前身の戸畑中央高等学校・戸畑実科女学校の設立から80年の歳月を数えることとなる。この節目の年を契機とし、本校教育活動の更なる充実・発展をとおして、地域に愛される魅力ある学校創りを目指す。	運営委員会(三部・十課制)の円滑化・効率化・組織化 部長会議(三部・年次主任)の定例化	三部・年次部の部長会議を定例化(毎週一回)することで、三部(教務・生徒・キャリア)の連携と、各部所属十課の効率的・組織的な運営を目指す。	
	生徒の単位修得率の向上 教育活動の活性化・特色化及び授業内容の充実 高大等連携事業、マスター・ティーチャー・プログラム等の活用	面接週間・生徒情報交換会等の活用により、生徒情報の収集と共有化を図る。 90分授業の充実のため、授業研究や職員研修、生徒による授業評価等を活用する。 上級学校や企業との連携を密にしながらガイダンス指導の充実に努める。	
	科目履修生制度の導入 「自己判断」「自己選択」「自己決定」等自己教育力の育成 遅く生きる力の醸成	科目履修生制度の平成20年度からの導入を目指し、調査・研究を行う。 生徒会活動の充実、学校行事の活性化をとおして、達成感や帰属意識の高揚を図る。 教育環境の整備、ボランティア活動、キャリアガイダンス、マナーアップひびき等の充実に努める。	

評価項目	具体的目標	具体的方策	評価(3月)	次年度の主な課題	
教務部	教務部	生徒の学力格差に対応し、基礎的・発展的学力を充実させる学習方法を研究する研修会を実施する。 生徒の出席状況を管理し、生徒の出席率を向上させるようHR担任を指導していく。 中学校訪問・体験入学・出前授業等の関連性を高め、より効果的な生徒募集活動を行う。	A A A	A	生徒の学力格差を的確に把握するため、実力診断テスト、学校満足度調査を実施した。この結果を分析し、学習指導力向上につなげて行く。また、出席状況の分析を次年度も実施し、出席率向上を図って行く。 システムの円滑な運用に努め、入試データの分析に取り組んで行く。 生徒の進路実現のため、学習指導力をより一層向上させる必要がある。そのための研究、授業研究等により一層取り組む。地域社会における本校の認知度を向上させるため、多様なメディアを活用して行く。
	教務課	欠席者の状況分析を年10回実施し、生徒の出席率を向上させる。 中途退学者について、情報収集・分析を行い、中途退学者を減少させる。 教務支援システムの運用マニュアルを整備し、円滑な業務の実現に努める。	B A A		
	情報システム課	校内ネットワークの管理及びIT環境の整備を図るとともに、校内デジタルデータの管理を行う。 教職員の専門的資質を高め、魅力ある授業を創造するための各種研修を運営する。	B B B	B	
	研修課	本校の特色を効果的にアピールできる学校案内・ポスター等を10月までに作成する。 本校の特色ある教育活動を体験することができる体験入学を年2回実施する。 中学校訪問等、出前授業等を積極的にを行い、中学校等の連携を図る。	A A A B	A	
	広報課	生徒の学力を向上させるとともに、単位修得率70%を達成する。効果的な生徒募集の方策を計画する。	A A A	A	
生徒部	生徒部	すべての教育活動をとおし、心豊かにして遅く生きる力を育て、自主性と自己責任力の伸長を図る。 校内及び生徒の安全を確保するとともに、生徒が自身の良さを伸ばせる環境の創出を目指す。	A A A	A	交通安全及び非行防止教育について、参加体験型などの方法を企画し指導の充実に努める。 校舎改築に伴い生徒談話室など生徒の居場所作りを工夫して充実した環境を整える。 専門医による相談事業を継続的に実施し、校内での教育相談を超えた生徒の対応をする。
	生徒指導課	IDカードの着用率100%を目指すとともに、加工の禁止を徹底する。 部活動組織を再編し、部活動加入率25%を目標に掲げ、達成感や帰属意識の高揚を図る。 非行防止をテーマにした年2回の講演を企画し、反社会的行為の未然防止を図る。	B B A		
	修学課	校外の各機関との連絡調整を行い、組織的かつ継続的な援助・指導に取り組む。 生徒の個別の実態に即した、生徒の個々の情報を収集し、生徒把握に活かす。 不登校防止や中退防止に向けた対応策の構築により退学者の2割削減を目標にする。	A A A	A	
	保健課	教育環境の美化及び整備充実に努め、職員・生徒の健康増進のための支援を行う。 諸検診の円滑な運営を心がけ、生徒の健康管理のため、受診率100%を目標にする。 保健便りを毎月発行し、生徒・保護者の健康管理・環境美化への意識を向上させる。 「性と心の健康相談」・カウンセリングを定期的実施し、生徒支援の一助とする。	A A B A	A	
ガイダンス部	ガイダンス部	キャリア教育の視点に立ち、個々の生徒に対するキャリアガイダンスを支援する。 近未来ガイダンスへの積極的参加を促し昨年比120%の参加率を目指す。 高大等連携事業を有効活用し、参加希望生徒へのガイダンス体制を構築する。	A A B	A	新入年次から3年間を基本とした進路指導体制が確立し、意欲的な生徒達の進路展望を充分にかなえられた。 個々の生徒の進路目標達成に向けてのモチベーションを高めるための具体的方策について検討を重ねる。 データや反省等の記録化は充実してきたので、効率的な活用法について検討したい。
	進路指導課	各年次における進路指導体制を点検整理し本校としての進路指導体制を構築する。 卒業予定生対象の「面接セミナー」を実施するとともに、マナー教育の充実に努める。 生徒の進路希望に応じた指導を徹底し、生徒の進路希望の80%の実現を目指す。	A A B		
	企画・庶務課	80周年記念行事を含む各行事のスムーズな開催を計画する。 PTA総会・公開授業・PTA研修会等への保護者の参加を呼びかける。 校舎移転・旧校舎解体前のスムーズな物品移動を計画する。 会議議事や各行事の反省の記録化を徹底する。	A A A A	A	
	図書課	生徒用小冊子の利用や書籍情報等の広報活動をより活発化し、貸出平均6.5冊を目指す。 図書館ボランティア生徒の活性化・組織化することで全体の読書喚起につなげる。 図書館環境整備や各教科の協力のもとオリエンテーションを実施し読書指導を行う。	A B A	A	

